

都市再生整備計画 事後評価シート（原案）

瑞穂中央地区

平成23年10月

岐阜県瑞穂市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	瑞穂市		地区名	瑞穂中央地区			面積	962ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	1,780百万円	国費率	0.411				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(7-2-89号線他8路線)、公園(犀川水辺の楽校((仮称)犀川遊水地公園))他1箇所、地域生活基盤施設((仮称)本田ふれあい広場)、高次都市施設((仮称)本田コミュニティセンター)										
		提案事業	地域創造支援事業(水路整備「野白新田地内」)、まちづくり活動推進事業(環境学習会)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	地域創造支援事業(警戒用水位標識)		浸水被害実績の資料収集に困難を極め整備期間内の実施が見込めないため、削除				影響なし。				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道3-1-2号線、市道5-3-408号線、市道4-3-347号線)		避難経路の充実を図るため、追加				影響なし。				
公園(本田西之島公園)			堤防を利用した既設遊歩道の休憩地として整備し、更なる河川との触れ合いの場を創出するため、追加				影響なし。						
提案事業		地域創造支援事業(水路整備「別府地内」)		宅地開発に伴い、降雨時の排水量の増加に対応するため未整備水路の整備を追加				影響なし。					
		事業活用調査(事業効果分析調査)		各評価項目の計測又は確認を行い、事後評価が円滑かつ確実に進められるよう追加				影響なし。					
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
	変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	防災対策に対する満足度	%	18	H16	36	H23	-	25	△	あり	災害に強いまちづくりのため、避難経路や排水路の整備を推進したことで、防災対策に対する満足度は増加している。しかし、近年の大規模災害による不安が影響し、目標値に達していないと考える。	平成24年10月
	指標2	避難所の屋内収容人数	人	3,630	H18	3,940	H23	-	3,940	○	あり	被災時における避難所を確保するため、本田コミュニティセンターの建設を実施し、屋内収容人数を増加させることができた。	-
	指標3	住民一人当たりの公園面積	m ²	3.0	H18	7.8	H23	-	7.4	△	あり	親水空間を活用した憩いの場の創出のため、公園整備を実施したことで、地区内の公園面積は増加する。しかし、人口増加が大きいので、住民一人当たりの公園面積は目標値を若干下回る見込みである。	平成24年10月
指標4										あり			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	避難場所、避難経路の整備に対する満足度	%	11	H18				30			災害時における速やかな避難・救護体制づくりのため、避難所建設や避難経路の整備を進めたことで、平常時の利用においても利便性が向上し、評価が得られた。	平成24年10月
その他の数値指標2	河川、水路の整備に対する満足度	%	10	H18				34			浸水による災害を防止するため、地区内の幹線排水路整備や、国・県により放水路や排水機場が増設されたことで、排水条件が改善され評価が得られた。	平成24年10月	
その他の数値指標3	避難所の屋内収容人数割合	%	18.1	H18				18.4			地区内人口が増加しており、既存施設だけでは屋内収容人数割合が減少していた。しかし、被災時における避難所として、本田コミュニティセンターを建設したことで、屋内収容人数割合を引き上げられた。	-	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 避難所や避難経路等の整備が推進したことや、地域防災活動の支援により、防災に対する意識が向上しつつある。 地域住民参画による公園整備、環境学習の活動により河川環境に対する関心が深まり、地域の自主活動により公園管理が行われている。 												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	公園整備方針を住民参画の「犀川子どもの水辺協議会」に諮り、意見を反映しながら事業を実施した。また、「犀川水辺の楽校」の活動として、河川環境と触れ合うことのできるイベントを実施した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									今後も市民参加による活動等を通じて、河川空間を地域住民の環境学習の場として、継続的に活用していく予定である。	
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

瑞穂中央地区(岐阜県瑞穂市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 災害に負けない「安全で安心して暮らせるまちづくり」の推進 目標1: 災害時における住民のための避難所や避難経路の確保 目標2: 防災拠点(地域コミュニティセンター)の整備による地域防災力の強化 目標3: 河川と身近に触れ合うことにより、その役割について市民の認識が深められるよう、親水空間を活用した憩いの場の創出	防災対策に対する満足度	18 H16	36 H23	25 H23
	避難所の屋内収容人数	3,630 H18	3,940 H23	3,940 H23
	住民一人当たりの公園面積	3.0 H18	7.8 H23	7.4 H23
	避難場所、避難経路の整備に対する満足度	11 H18		30 H23
	河川、水路の整備に対する満足度	10 H18		34 H23
	屋内収容人数割合	18.1 H18		18.4 H23

道路



市道1-1-1号線

市道3-1-2号線



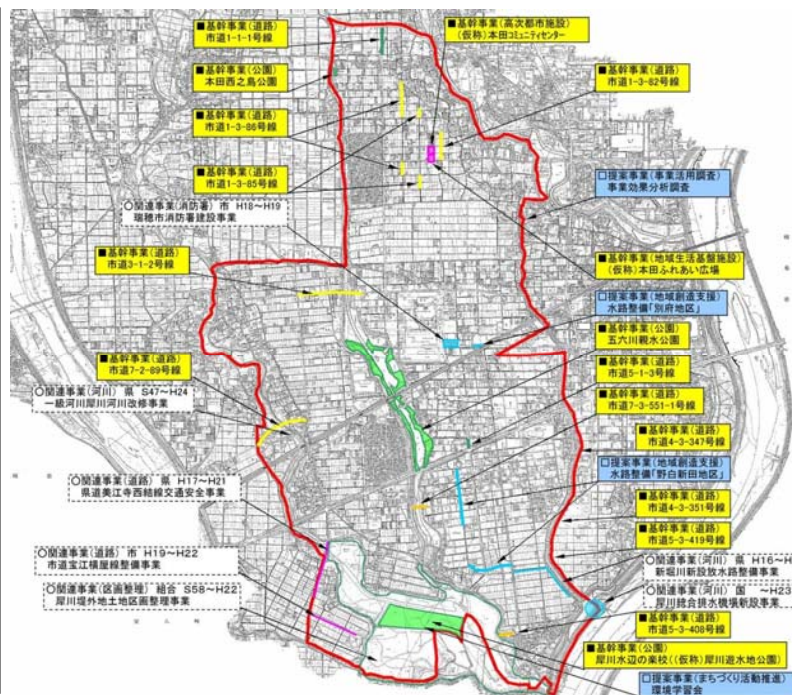
市道1-3-82号線

市道1-3-86号線



市道4-3-347号線他2路線

市道7-3-551-1号線



地域生活基盤施設



(仮称)本田コミュニティセンター

高次都市施設



(仮称)本田ふれあい広場

公園



犀川水辺の楽校
((仮称)犀川遊水地公園)



五六川親水公園

地域創造支援



本田西之島公園



水路事業

まちの課題の変化

- 住民参画による公園整備や環境学習の活動実施により、河川環境への関心が深まりつつある。
- 避難所や避難経路、排水路等の整備による、さらなる防災対策が求められている。
- 防災活動を活発化するため、地域交流による積極的な自主防災の取り組みや、災害時に効率的・組織的な活動を行うための支援が必要となる。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 地域住民の意見を反映させつつ、避難所や避難経路、幹線排水路等の整備を推進し、基盤整備を充実する。
- 「自分たちのまちは自分たちで守る」という積極的な心構えにより、災害時の連絡体制や具体的な救援・救護体制づくりを促進するとともに、組織リーダーの育成を図る。